

梅雨明けとなり、蝉の声が賑やかに聴こえる季節となりました。暑い日が続いておりますが、熱中症に十分注意をしながら、引き続き安全安心を第一に工事を進めてまいります。今号では、浸出水地下水集水ピット築造工事と、7月3日に行われた地元4学区の現地視察についてお知らせいたします。



浸出水地下水集水ピットの築造工事に着手

浸出水地下水集水ピットは、埋立地内の廃棄物に触れた雨水(浸出水)と遮水工下部の廃棄物に触れていない地下水を、それぞれの集排水管を通じて集水する施設です(集水ピット内は区分されており、浸出水と地下水が混ざることはありません)。高さが約24m、幅が約19m、奥行きが約9mの鉄筋コンクリート構造物です。浸出水は、集水ピットから浸出水処理施設内の調整槽へ送水され、水質浄化されたのち、公共下水道へ排水されます。地下水は、集水ピットから防災調整池を経由して、鮎川に放流されます。

現在は、集水ピットの基盤整備が完了し、鉄筋の組立とコンクリートの打設を実施しています。



<基盤整備の状況>



<コンクリートの打設状況>

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団のホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



現場だより

地元4学区役員の現地視察を実施

7月3日、地元4学区(諏訪、大久保、油縄子、成沢)の役員を対象とした現地視察を行いました。当日は、処分場建設工事や茨城県が施工している新設道路工事の状況、今後の整備計画等について説明しました。

また、工事の安全対策や処分場施設の計画位置などについて、質疑応答を行いました。

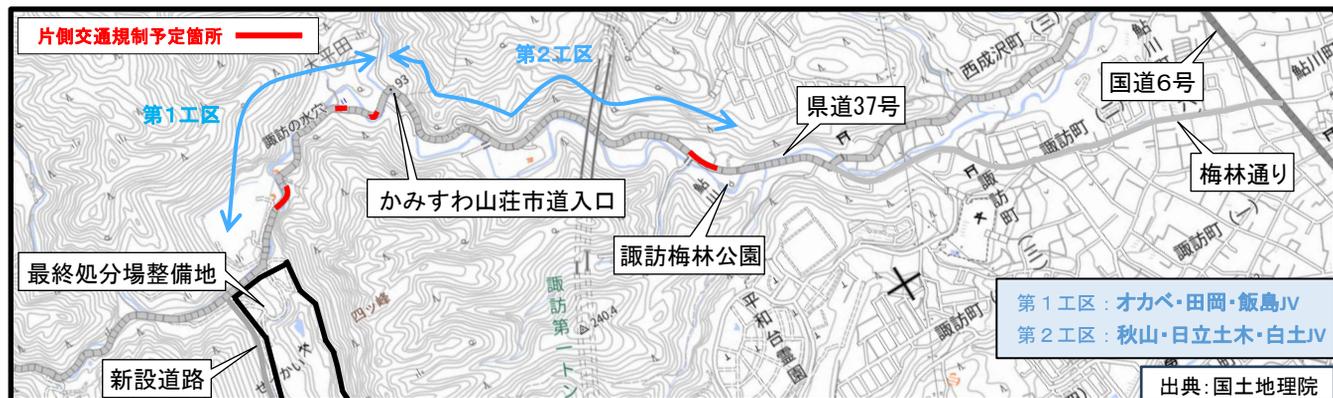


<現場事務所での説明>



<処分場整備地での現場説明>

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所(8月)



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(5月測定)

工事現場からの雨水排水は、工事の影響はほとんどなく、基準値未満でした。

● 地下水(5月測定)

モニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

● 動植物(5月測定)

移植措置を実施した、トンボ類及び植物を確認し、順調な生育を確認しました。



環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果

処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点